

フラッグシップの風格と実力を備えた究極のスタンダード・シリーズが完結

ティグロンのケーブルにおいて不動の人気を誇るブルーをまとったスタンダード「アズール・ドラゴン」。電源ケーブルから先行して発売されたが、今回同シリーズに待望のインターコネクトとスピーカーケーブルが加わった。DF-OFC銅の導体を従来比で15%増量したり、最新の制振技術や処理技術を全部盛り。スタンダードモデルでありながら、フラッグシップの風格と実力を兼ね備えたシリーズに仕上がっている。その魅力を炭山アキラ氏が最速でレポートする。

Text by
炭山アキラ
Akira Sumiyama

Photo by田代法生

BEST HiFi
Accessory

2025 AUTUMN

TIGLON Azure Dragon シリーズ



銅を従来比で15%増量させ最新処理を惜しみなく投入

ティグロンの電源ケーブルの中では比較的人手しやすいグレードの製品に、アズール・ドラゴンがある。導体は同社がオーディオ業界へ持ち込み、徐々に採用する社が増加しつつあるDF-OFCの2・0スケア3芯で、同社独自開発の制振素材D-RENを外装シースに採用した、価格の枠を大幅に飛び越える高品位電源ケーブルである。

そこへシリーズ製品として、RCA/XLRインターコネクトケーブルと、スピーカーケーブルが仲間入りした。いずれもDF-OFC導体を採用しているが、銅を



RCAインターコネクトケーブル「MS-DR20R-Azure Dragon」と、XLRインターコネクトケーブル「MS-DR20X-Azure Dragon」。価格は共通で1mペア(税込)＝¥69,300/1.5mペア＝¥79,200※延長は+50cmで ¥9,900(税込)

●導体：DF-OFC 3芯 ●絶縁体：特殊PVC ●シールド：マグネシウムシールド ●外シース：D-RENシース ●外形サイズ：8.5mm

スピーカーは導体断面積3・0スケアと電源ケーブルよりも太く、よりダイナミックで情報量に富んだ信号伝送を実現しているという。両端プラグはAET社製の高品位なもので、バナナとYラゲを選ぶことができる。両端プラグ

を装着したSPケーブルは、人件費がかかるために割高なものが多いが、本ケーブルはそれほど大きな価格差となっていないところも嬉しい。とはいえ、切り売りケーブルはグッと廉価なので、ご自分で気に入った両端プラグを取り付けられるのもよいのではないかな。

絶対的な情報が極めて多い完成の域に達した表現力

今回はRCA/XLRのインターコネクトと両端YのSPケーブル、そして電源ケーブルも自宅へ送られてきたので、早速いろいろ実験してみようと思う。まずインターコネクトから試そう。レファレンスのネットワークプレーヤーとプリアンプの間につないで音を聴く。

まずはRCAから試していったが、レファレンス比で音の通りが倍加して、中低域に何となく感じていたモヤつきが一掃される。これはマグネティックZEROプロセスの効果が大きいのではないかな。オーケストラとコーラスの間にしっかりとした遠近感と空気層が感じられ、弦の艶やかさ、金管の突き抜けるような輝きが素晴らしいが、はしゃいだり荒れたりする感じが全然ない。低域方向は引き締まって超ハイスピードだが、それ

で音が痩せたりスケール感が下がったりすることがない。絶対的な情報量が極めて多いせいであろう。

続いてXLRを聴く。RCAより一段スケール感がアップして聴こえるが、これはわが家のレファレンス・アンプがアキュフェーズのせいだろう。音の傾向は非常によく似通っており、非常に見晴らし良く、オケの編成やコーラスの人数が見えてきそうな解像度とを持ちながらまったく神経質にならず、どこか應揚さというか、ギリギリまで音楽と対峙するような聴き方も少し肩の力を抜いた音楽との向き合い方も、ともに許容するような懐の深さがある。f/Dともレンジは極めて広く、しかし「どうだッ！」というような力こぶや青筋のようなものはどこにも見当

たらない。好ましい表現だ。

お次はSPケーブルを交換する。レファレンスも相当の高級ケーブルなのだが、音の抜けが向上してホールの空間が広大に広がっていくさまが美しい。音像の実体感は一流だが、重く引きずるようなところがなく、非常に軽やかかつ躍動的な表現を楽しませてくれる。低域は一段とよく引き締まり、しかしやはり存在感が細くなったり腰高なバランスになったりすることがない。見た目以上のパワー感を噴出させるケーブルである。

電源ケーブルは既に4ウェイのミッドハイ用パワーアンプに使っているのだが、せっかくだからプリアンプに挿してみようと、これまでの音の印象がさらに深まったことが分かる。貴族的な気品を湛えた広大で濃厚な音場に、コーラスとオケがしっかりと距離感を保ちながら定位置し、それぞれの編成が見えてくるような表現力が素晴らしい。まさに「完成！」の感がある。中級価格帯のケーブルといえようが、その実力は極めて高い。



スピーカーケーブル「MS-DR20SP-AD」。価格は切り売りは¥11,000/m、完成品は1.5mペア＝¥59,400、2.5mペア＝¥81,400、3.5mペア＝¥103,400(税込)※端子はAET社製の金メッキY端子とバナナ端子から選択可

●導体：DF-OFC 3.0sq 2芯 ●絶縁体：特殊PVC ●シールド：マグネシウムシールド ●外シース：D-RENシース ●外形サイズ：9.0mm